

倫理 第2回「青年期② 適応と個性の形成」(『新倫理改訂版』清水書院 p.11～)

○今回のポイント

欲求が満たされずフラストレーションになると、適応しようと3つの反応を示す！

1 篇 1 章③適応と個性の形成(教科書 p.11～)

適応と防衛機制

(1)欲求

○[① 欲求 ]とは何か

動因…必要なものが得られない欠乏状態から脱却しようとする傾向

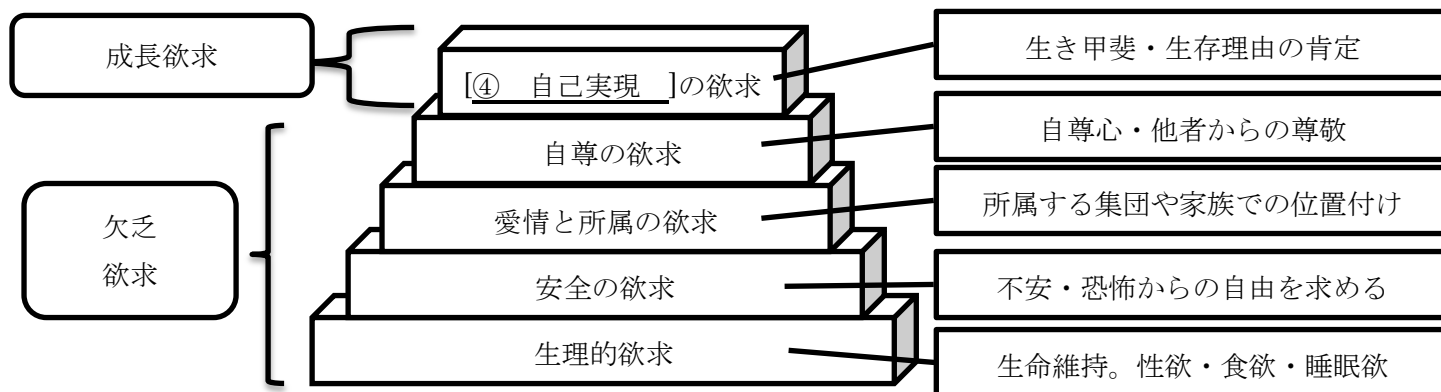


誘因…欲求を満たすことができそうな目標があらわれると行動を起こす

○欲求の種類

[② 一次的欲求 ] (生理的欲求)	生命維持の為に身体的・生理的に欠かせない欲求。 例…性欲・食欲・睡眠欲など。
二次的欲求 (社会的欲求)	自己の個性の実現をはかることや他者に認められることを願う社会的欲求。 例…他者需要願望、自己承認欲求など。

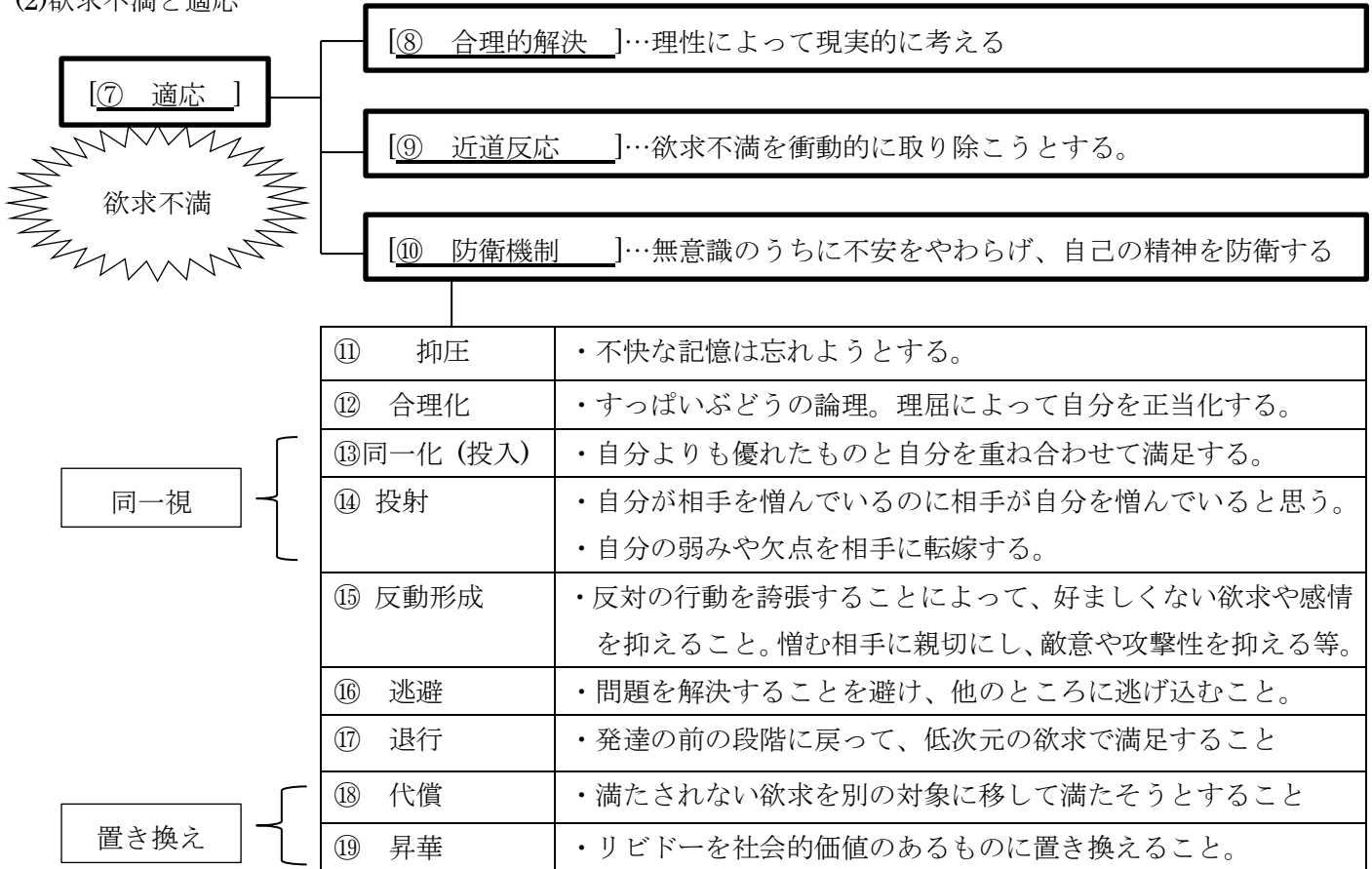
○[③ マスロー ]の欲求階層説…人間の欲求を分類し、低次から高次の順に5つの階層を提示した。



○葛藤 ([⑤ コンフリクト ]) …二つ以上の相反する欲求が衝突して選択が困難になること。

接近-接近型	[⑥ 回避-回避]型	接近-回避型
接近したいプラスの欲求が2つ以上 対立しているケース	回避したいマイナスの欲求が2つ以 上迫ってくるケース	プラスとマイナスの両面を併せ持 つケース
大学で社会科学系を専攻したい(+) が、人文科学系も専攻したい(+)	勉強はしたくない(-)が、大学受験 にも落ちたくない(-)。	実妹と契りたい(+) が、社会的規範 上忌避されている(-)。

(2) 欲求不満と適応



Cf.アードラーは劣等感を克服しようとする意識のはたらきを[⑳ 補償]と呼んだ。

パーソナリティの形成 (教科書 p.14～)

・[㉑ パーソナリティ]…人間の様々な行動や思考形態の総体。行動の統一性に見られる「その人らしさ」。  
能力(知能・技能)、気質(感情的側面)、性格(行動的側面)からなる。

→cf.[㉒ マーガレット=ミード]…南太平洋の島々でパーソナリティの形成には「文化」が影響すると説く。

(1)[㉓ ユング]の性格類型

- ・内向性…関心が自己の内面に集中する。様々なことを自己との関わりでとらえる。自己アピール。
- ・外向性…外部の客観的なものに関心が傾く。自分の行動を判断する基準が自分の外。適応性、協調性。

(2)[㉔ クレッチュマー]の体格による3類型

	肥満型	細長型(やせ型)	闘志型(筋骨型)
	循環気質、社交的、融通がきく、物事にこだわらない	分裂気質、非社交的、無口、敏感と鈍感の二面性	粘着気質、几帳面、きれい好き、義理堅い

(3)[㉕ シュプラングァー]の価値追求の6類型

理論型	物事を客観的に扱う。同情心が無く、個人主義的。実際生活が下手。
経済型	金や財産に最大の関心を示す。利己主義者。
審美型	敏感で繊細な感情を持つ。美を求めて生きる。
宗教型	完全に満足できるような最高の価値を求める。
権力型	つねに他人を支配し、命令しようとする。
社会型	仲間を愛し、他人とともに生きようとする。愛を最高のものとする。